

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第81回	2022年	令和4年	学術文化	趙 孟佑	九州工業大学 大学院工学研究 院 宇宙システム工学系教授	福岡	超小型衛星の研究・開発に尽力し、国際交流と人材育成を通して諸 外国の宇宙参入に大きく貢献した功績
			社会文化	高橋 睦郎	詩人	福岡	優れた詩歌を創作するとともに、詩の新たな領域を開拓するなど日 本語詩歌の発展に寄与した功績
			社会文化	認定NPO法人 抱樸	(理事長 奥田知志)	福岡	伴走型と呼ばれる困窮者支援に長年取り組み、個に寄り添う地域社 会の構築を実践する功績
			学術文化 奨励賞	西田 基宏	九州大学 大学院薬学研究院教授	福岡	心不全や新型コロナウイルス感染症の創薬研究に大きく貢献した功 績
			社会文化 奨励賞	金 成妍	久留島武彦記念館館長	大分	久留島武彦の研究を記念館開設にまで広げ、地域活性化や日韓交流 にも大きく貢献した功績
第80回	2021年	令和3年	学術文化	北 潔	長崎大学大学院熱帯医学 グローバルヘルス研究科長、 教授	長崎	寄生虫のエネルギー代謝の仕組みを解明し、感染症治療薬を研究し た
			社会文化	井手川 泰子	元鞍手町歴史民俗資料館職員	福岡	元炭鉱労働者の女性たちの聞き書きを著し、近代化を支えた女性史 を次代へ残した
			学術文化 奨励賞	馬奈木 俊介	九州大学主幹教授、大学院工 学研究院教授、都市研究セン ター長、総長補佐	福岡	持続可能な社会の価値を示し、SDGsの成果指標となる「新国富指 標」を提唱した
			社会文化 奨励賞	橘家 文太	落語家	福岡	常設の寄席がない九州に拠点を置き、落語文化の定着へ情熱的に奔 走している
第79回	2020年	令和2年	学術文化	磯辺 篤彦	九州大学応用力学研究所教授	福岡	海洋プラスチックごみの実態と具体的予測で世界に警鐘を鳴らした
			社会文化	安永 幸一	福岡アジア美術館初代館長 一般財団法人豊福知徳財団理 事長	福岡	美術館の設置・運営や特色ある展覧会開催を通じ、地域文化を向上 させた
			学術文化 奨励賞	辻 健	九州大学工学研究院教授	福岡	地球の内部構造を調べる数々の新探査手法を確立し、防災や環境対 策を推し進めた
			社会文化 奨励賞	高浜 寛	漫画家	熊本	普遍性を持ち、丹念に読ませる漫画作品を相次いで発表し、国内外 で広く支持された
第78回	2019年	令和元年	学術文化	藤木 幸夫	九州大学名誉教授	福岡	細胞中のペルオキシソームの研究、同欠損症の原因解明
			社会文化	原口 泉	志學館大学教授 鹿児島県立 図書館長	鹿児島	地域史研究、ドラマの歴史考証や著作を通じた地域の魅力発信
			学術文化 奨励賞	竹村 俊彦	九州大学応用力学研究所教授	福岡	気候変動・大気汚染のシミュレーションソフトの開発
			社会文化 奨励賞	田中 千智	画家	福岡	優れた創作、表紙絵や壁画など幅広い活動
第77回	2018年	平成30年	学術文化	井上 尚英	九州大学名誉教授	福岡	パーキンソン病や中毒性神経疾患の臨床的研究・治療への貢献
			学術文化	大橋 康二	佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問	佐賀	近世肥前陶磁器を研究し年代判定の基準となる編年を確立した
			社会文化	小川 規三郎	重要無形文化財技術保持者 (献上博多織)	福岡	伝統工芸『博多織』の継承と発展に尽力した
			社会文化	伊藤 京子	ピアニスト 別府アルゲリッ チ音楽祭総合プロデューサー	大分	別府アルゲリッチ音楽祭を育て、日本の地方と世界の音楽界とを結 びつけてきた
第76回	2017年	平成29年	学術文化	山下 俊一	長崎大学学長特別補佐	長崎	放射線被ばくによる甲状腺がんの研究をはじめ、放射線災害医療学 の確立と発展に寄与した
			学術文化	森田 浩介	九州大学大学院理学研究院 教授	福岡	113番元素ニホニウム(Nh)を発見、命名し、アジアの国で初めて 元素を周期表に加えた
			社会文化	松本 零士	漫画家	福岡	数々の傑作を世に送り出して人々に夢とロマンを与え、漫画文化を 広く普及させた
			社会文化	伊藤 一彦	歌人 若山牧水記念文学館館長	宮崎	優れた歌作と研究、精力的な普及活動によって短歌文学と地域文化 の発展に寄与した

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第75回	2016年	平成28年	特別賞	大隅 良典	東京工業大学名誉教授	福岡	細胞の『オートファジー（自食作用）』の仕組みを解明し、がん治療など幅広い分野の研究に寄与した
			学術文化	五味 克夫	鹿児島大学名誉教授	鹿児島	南九州の中・近世史研究の基礎を築き、自治体史や地域史料集の編纂に尽力した
			学術文化	上原 春男	佐賀大学名誉教授 元佐賀大学学長 NPO法人海洋温度差発電推進機構理事長	佐賀	日本における海洋温度差発電研究の第一人者として実用化に道筋を付けた
			社会文化	葉室 麟	作家	福岡	人生の哀歓を描いた歴史・時代小説を数多く発表、福岡を拠点にした執筆活動で九州の文学の発展に寄与した
			社会文化	清和文楽の里協会	（理事長 鈴木幸生）	熊本	江戸時代末期から続く人形浄瑠璃を継承、発展させ、地域を挙げた文楽の里づくりに貢献した
第74回	2015年	平成27年	学術文化	杉町 圭蔵	九州大学名誉教授 遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院統括院長	福岡	外科医として半世紀以上活躍し、九州における臓器移植医療の基礎をつくった
			学術文化	大久保 利晃	産業医科大学名誉教授 放射線影響研究所顧問研究員	福岡	産業保健分野の第一人者として、日本における産業医制度の確立に尽くした
			社会文化	三輪 嘉六	前九州国立博物館館長 NPO法人文化財保存支援機構理事長	福岡	九州国立博物館の初代館長を十年間務め、同館を全国有数の文化施設に育て上げた
			社会文化	基聖寛蓮顕彰会	（会長 藤永勝之）	佐賀	平安時代に『基聖』と称された地元出身の棋士寛蓮の顕彰をはじめ、六十年以上続く祐徳本因坊戦の運営を通じて、囲碁の普及に寄与した
第73回	2014年	平成26年	学術文化	水田 祥代	学校法人福岡学園常務理事 九州大学名誉教授	福岡	小児外科医療の臨床・研究で数々の顕著な業績を挙げ、医療の充実、発展に貢献した
			社会文化	長谷川 法世	漫画家 博多町人文化連盟理事長	福岡	博多の生活・文化を漫画作品を通じて全国に発信し、博多の伝統文化の継承、発展にも尽力した
			社会文化	湯布院映画祭実行委員会		大分	地方における映画祭の草分けとして、映画の作り手と観客との交流の場を育て、日本映画の発展に寄与してきた
第72回	2013年	平成25年	学術文化	小田 富士雄	福岡大学名誉教授	福岡	九州考古学や日韓交流史の研究をけん引し、九州各地の埋蔵文化財の保存・活用にも寄与した
			社会文化	大竹 英雄	囲碁棋士九段	福岡	『大竹美学』と称される棋風で数々のタイトルを獲得し、日本棋院理事長を務めるなど囲碁の発展と普及に貢献した
			社会文化	安部 龍太郎	作家	福岡	独自の歴史観で時代や人物を見つめ、歴史小説の新たな領域を開拓した
第71回	2012年	平成24年	学術文化	荒川 規矩男	福岡大学名誉教授	福岡	高血圧症治療薬の基礎物質構造を世界で初めて解明し、高血圧研究の第一人者として多くの人々の健康に寄与した
			学術文化	正山 征洋	長崎国際大学薬学部教授	長崎	天然薬物の分析法を開発し、現代社会に欠かすことのできない漢方薬の品質安定、適正使用に寄与した
			社会文化	加藤 一二三	将棋棋士九段	福岡	将棋界において数々の記録を打ち立て、現役棋士生活58年を迎えた今も第一線で活躍し、将棋の普及と発展に寄与した
			社会文化	唐津曳山取締会	（総取締 牧川洋二）	佐賀	唐津くんちの独特な祭り文化を伝承し、全国有数の祭りに育てた

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第70回	2011年	平成23年	第70回 記念特別賞	野見山 暁治	画家	福岡	洋画界で独自の世界を切り開き、また、九州をはじめ各地の才能の 発掘・育成に尽力した
			第70回 記念特別賞	五木 寛之	作家	福岡	卓越した時代感覚によって人々の心を揺り動かす作品を生み続け、 また、九州芸術祭文学賞などの選考を通して多くの才能を世に送り 出してきた
			学術文化	高橋 和雄	長崎大学名誉教授	長崎	自然災害を調査研究し、防災体制の整備・防災思想の普及に寄与し た
			社会文化	NPO法人日本からHTLV ウイルスをなくす会	(代表 菅付加代子)	鹿児島	九州に感染者が多いウイルスHTLV1の総合対策実現に寄与した
第69回	2010年	平成22年	学術文化	楠田 哲也	九州大学名誉教授 北九州市 立大学教授	福岡	有明海の環境変化の研究など、国内外で水環境保全に寄与した
			学術文化	前田 浩	崇城大学教授 熊本大学名誉 教授	熊本	がん治療と予防などに関する研究
			社会文化	緒方 克也	社会福祉法人福岡障害者文化 事業協会理事長	福岡	知的障害者の自立へ向け、音楽・美術活動を支援した
			社会文化	宮崎 静夫	画家	宮崎	戦時中の満州とシベリア抑留体験などをテーマにした画業
第68回	2009年	平成21年	学術文化	荒木 見悟	九州大学名誉教授	福岡	九州を拠点に、日本の中国学研究深化と近世儒学研究に寄与した
			社会文化	吉永 正春	九州戦国史研究家	福岡	九州の戦国史を長年研究し、執筆活動を通じて郷土の武将たちに光 を当てた
			社会文化	葉 祥栄	建築家	福岡	柔軟で斬新な感覚の建築デザインにより、国内外の建築文化発展に 寄与した
			社会文化	池ノ上 克	宮崎大学医学部教授	宮崎	地域の拠点病院をつないだ独自の産科救急体制システムを構築し、 周産期医療充実に貢献した
第67回	2008年	平成20年	学術文化	菊竹 淳一	九州産業大学教授	福岡	西日本地域の仏教美術研究の基礎を築き、東アジアの交流史研究に 寄与した
			学術文化	桑野 信彦	九州大学特任教授	福岡	がん治療の基礎研究をリードし、現在のオーダーメード治療の基盤 を構築した
			社会文化	弥勒 祐徳	画家	宮崎	西都原の桜や各地の神楽などを描いて独自の画境を開き、宮崎の地 域文化を紹介した
			社会文化	阿部 真也	九州情報大学客員教授	福岡	流通経済学の基礎理論の発展に尽くし、九州各都市の商業調査、ま ちづくり提言活動に寄与した
			社会文化	王 貞治	福岡ソフトバンクホークス最 高顧問	福岡	ホークスの監督として十四年間、九州のプロ野球ファンに夢と感動 を与え、地域の社会文化の向上に貢献した
			社会文化	十八世紀音楽祭協会	(会長 中里隆)	福岡	『福岡古楽音楽祭』を創設して日本有数の古楽音楽祭に育て上げ、 地域文化の向上に寄与した
第66回	2007年	平成19年	学術文化	池田 紘一	長崎外国語大学学長	長崎	独文学研究やユング著書の翻訳に尽力するとともに、日独文化交流 の発展に寄与した
			社会文化	第14代酒井田柿右衛門	陶芸家	佐賀	襲名後四半世紀にわたって柿右衛門様式を継承しながら、新しい磁 器の創造に尽くした
			社会文化	佐木 隆三	作家 北九州市立文学館館長	福岡	裁判傍聴などを通し人間の本質を見つめ、多くの著作に表わしてき た
			社会文化	九重の自然を守る会	(会長 嶋田裕雄)	大分	50年ちかくにわたり、くじゅうの自然保護に貢献した

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第65回	2006年	平成18年	学術文化	原田 正純	熊本学園大学教授	熊本	水俣病、とくに胎児性水俣病の臨床的・疫学的研究に尽くした
			学術文化	岡村 繁	九州大学名誉教授	福岡	『文選』『白氏文集』など中国古典文学の研究に尽力し、多くの後進を育てた
			社会文化	中島 宏	陶芸家 日本工芸会理事	佐賀	独創性豊かで芸術性に富む青磁の世界を確立した
			社会文化	宅老所「よりあい」	(代表 下村恵美子)	福岡	認知症介護に適した『宅老所』を開設、ケアの質向上に貢献した
			社会文化	ブリヂストン吹奏楽団久留米	(団長 井上芳治)	福岡	実業団プラスバンドとして、地域文化振興に貢献した
第64回	2005年	平成17年	学術文化	平田 寛	九州大学名誉教授	福岡	九州の仏教美術の調査・研究に尽力、修復・保護の面でも多大な貢献をした
			社会文化	武野 要子	福岡大学名誉教授	福岡	博多・長崎の商人研究と、東アジアの文化交流に尽くした
			社会文化	松井 猛	元高崎山自然動物園ガイド	大分	高崎山のサルの『家系図』を作り、大分観光に寄与した
			社会文化	熊本赤十字病院 国際医療救援部	(代表 部長 浅井淳)	熊本	長年にわたり国内外の災害や紛争などの被害者救護に取り組んできた
第63回	2004年	平成16年	学術文化	坂田 利家	中村学園大学栄養科学部教授	福岡	食欲の調節に関する物質を発見するなど生理工学の成果を取り入れた肥満治療法を開発した
			学術文化	新海 征治	九州大学大学院工学研究院教授	福岡	分子機械の創製をはじめ世界の分子化学の研究をリードした
			社会文化	中村 旭園	筑前琵琶福岡旭会会長	福岡	筑前琵琶の奏者として、その伝統保持と普及に努めた
			社会文化	古川 薫	作家	山口	多彩な歴史群像を作品化、人間ドラマと歴史を発掘した
			社会文化	長崎の証言の会	(代表委員 演崎均、内田伯、廣瀬方人)	長崎	被爆者の証言を通して被爆の実相を伝え、原爆の非人道性を訴えてきた
			社会文化	博多祇園山笠振興会	(会長 後藤久義)	福岡	博多祇園山笠を全国区の祭りにし、世界に向けて『博多』をアピールした
第62回	2003年	平成15年	学術文化	西谷 正	九州大学名誉教授	福岡	朝鮮考古学の研究を通じて日本の考古学に新たな視点を提起し、東アジアと深くつながった古代日本の姿を明らかにした
			学術文化	教育と医学の会	(会長 安藤延男 九州大学名誉教授)	福岡	月刊誌『教育と医学』を発行、医学・教育・心理の各分野の成果を通して現代の社会問題と取り組み、啓発してきた
			社会文化	晃地 三郎	しいのみ学園園長	福岡	知的障害児の教育施設『しいのみ学園』を創設し、養護教育の発展をリードしてきた
			社会文化	山下 惣一	農業・作家	佐賀	農業を続けながら文筆活動を通して、現代の『農と食』の問題を啓発した
			社会文化	豊福 知徳	彫刻家	福岡	わが国を代表する彫刻家として美術文化の発展に貢献した
第61回	2002年	平成14年	学術文化	持田 勲	九州大学機能物質科学研究所教授	福岡	「炭素の構造をナノ（十億分の一m）単位で解析し、化石燃料の高度利用と高性能の炭素材を開発した」功績
			学術文化	西田 輝夫	山口大学医学部教授	山口	角膜治療の基礎医学的研究や治療法の開発において世界に先駆けた成果を上げた
			社会文化	香月 徳男	日本水車協会会長	福岡	全国から姿を消しつつあった水車の動態保存に力を注ぎ、水車を軸にした多彩な文化活動を展開した
			社会文化	井上 萬二	陶芸家 国重要無形文化財「白磁」保持者	佐賀	白磁の技術的水準を高め、伝統磁器に独自の作陶世界を広げた
			社会文化	九州国立博物館誘致推進本部	(本部長 大野茂 九州・山口経済連合会長)	福岡	九州国立博物館（仮称）の実現に大きな役割を果たし九州の地域文化向上に貢献した
				博物館等建設推進九州会議	(会長 大野茂 九州・山口経済連合会長)	福岡	
				九州国立博物館設置促進財団	(理事長 大野茂 九州・山口経済連合会長)	福岡	

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第60回	2001年	平成13年	学術文化	山元 寅男	中村学園大学学長 九州大学名誉教授	福岡	医学、生物学の領域における細胞組織の分子解剖学的電子顕微鏡的研究、特に消化吸収機構の分子解剖学的研究における
			学術文化	花嶋 正孝	福岡県リサイクル総合研究センター長	福岡	日本における廃棄物工学のバイオニアで『準好気性埋立構造』を開発し、その技術を『福岡方式』として日本全国、アジア各国へ広めた
			社会文化	近藤 原理	障害者共同生活の家「なずな園」運営	長崎	障害者との共同生活の家を38年間運営。その実践が、障害者の自立と教育、地域福祉に貢献した
				近藤 美佐子			
			社会文化	高樹 のぶ子	作家	福岡	福岡から恋愛小説を中心に優れた文学作品を発表し続け、日本の文学に寄与した
第59回	2000年	平成12年	学術文化	岡田 武彦	九州大学名誉教授	福岡	東洋思想の研究に長年取り組み、日本人の精神文化を広く紹介した
			学術文化	関口 睦夫	福岡歯科大学教授 九州大学名誉教授	福岡	紫外線などで傷ついた遺伝子のDNA修復酵素を世界で初めて分離同定し、発がん抑制との関連を明らかにするなど、生物の生命維持メカニズムを解明した
			社会文化	竹熊 宜孝	医師 公立菊池養生園名誉園長	熊本	『医は農に、農は自然に学べ』の思想で、養生説法を25年にわたり広め続けた
			社会文化	片岡 千鶴子	長崎純心大学学長	長崎	日本キリスト教史、とりわけ長崎を中心とするキリシタンの研究と教育、地域への普及に果たした
			社会文化	福岡部落史研究会	(会長 森山沾一福岡県立大学教授)	福岡	部落問題を中心とする人権に関する理論・学術研究と啓発活動
第58回	1999年	平成11年	学術文化	川添 昭二	九州大学文学部名誉教授	福岡	九州中世史研究に寄与し、県市町村史編纂・監修などで地域文化向上に貢献した
			学術文化	鈴木 信	琉球大学医学部名誉教授	沖縄	沖縄県の長寿メカニズムを遺伝子レベル、ライフスタイルの面などから幅広く研究した
			社会文化	北九州森鷗外記念会	(会長 小林安司)	福岡	北九州市・小倉に滞在した文豪・森鷗外を顕彰した
			社会文化	夏樹 静子	作家	福岡	福岡からミステリーを軸に優れた作品を発表し続け、九州の文学発展に貢献した
第57回	1998年	平成10年	学術文化	中野 三敏	九州大学文学部教授	福岡	近世文学、とりわけ江戸戯作研究に寄与した
			学術文化	西田 新一	佐賀大学理工学部教授	佐賀	材料強度学の応用研究の発展に貢献
			社会文化	賀川 光夫	別府大学名誉教授	大分	考古学研究の傍ら、文化財専門職員を指導育成、助言を続け九州の文化財保護行政発展に貢献した
			社会文化	村田 喜代子	作家	福岡	独自の幻想的な小説群を発表、九州の文学の向上発展に寄与した
第56回	1997年	平成9年	学術文化	伊藤 智之	九州大学応用力学研究所教授	福岡	日本における核融合炉開発研究でトカマク型装置の第一人者として貢献してきた
			学術文化	稲垣 良典	長崎純心大学人文学部教授・副学長	長崎	イタリア中世の神学者で哲学者のトマス・アクィナスを中心にした哲学研究における
			社会文化	菊畑 茂久馬	画家	福岡	日本の現代美術界を代表する一人として多くの作品を発表、さらに戦争画や筑豊の炭鉱絵師・山本作兵衛氏などに関する優れた美術評論に対する
			社会文化	田主丸町誌編集委員会	(会長 林田守保)	福岡	制度中心、編年体の自治体史の枠を破り、民衆の視点から地域の歴史を読む新しい町誌を刊行、自治体史の在り方に一石を投じた
			社会文化	佐賀県立伊万里高等学校生物部	(指導教諭 橋本孝 部員20人)	佐賀	伊万里湾での長年にわたるカブトガニの研究と保護育成に努めた

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第55回	1996年	平成8年	学術文化	徳本 鎮	福岡女子大学学長 九州大学名誉教授	福岡	永年にわたる鉱・公害賠償の法理の研究とその実践に関する
			学術文化	鹿児島大学医学部HAM 研究グループ	(代表 内科学第三講座教授 納光弘)	鹿児島	ヒトレトロウイルスの1つであるHTLV-IIによっておこる新しい脊髄 疾患を発見、HAMと名付け、疾患概念を定着させた
			社会文化	赤崎 正則	福岡工業大学学長 九州大学 名誉教授	福岡	高電圧工学、放電工学の開拓と体系化に力を発揮。西日本放電懇談 会を創設し20年にわたる活動を維持した
			社会文化	永留 久恵		長崎	対馬の考古学、民俗学を地道な発掘作業などを通して研究。その成 果は『対馬学』として評価され、九州本土と朝鮮半島の交流の解明 に寄与した
第54回	1995年	平成7年	学術文化	福永 光司	中国古代思想研究家	大分	中国古代の老荘思想および道教の研究
			学術文化	三隅 二不二	筑紫女学園大学・短期大学 学長	福岡	『リーダーシップPM論』の開発、集団力学における学問的指導者 としての活動で社会貢献した
			学術文化	高月 清	熊本大学医学部教授	熊本	成人T細胞白血病、高月病、H鎖病を発見し、疾患概念を確立。同疾 患の臨床病態の解析、治療法の検索などの臨床研究に貢献した
			社会文化	白石 一郎	作家	福岡	優れた歴史・時代小説を発表し、九州の文学の向上発展に寄与した
			社会文化	財団法人福岡県メディカ ルセンター		福岡	救急医療情報センターをはじめ、学校心臓検診、がん登録、肺がん 検診、花粉情報の提供などを全国に先駆けて展開。地域医療、地域 住民の健康保持・増進に尽力した
第53回	1994年	平成6年	学術文化	北御門 二郎	トルストイ研究家・翻訳家	熊本	長年にわたるトルストイ研究とその作品翻訳に関する
			学術文化	内藤 芳篤	玉木女子短期大学教授	長崎	長年の形質人類学研究で、九州人および日本人の起源解明に果たし た
			社会文化	森崎 和江	詩人・作家	福岡	女性の生き方、戦後社会のあり方など明確な問題意識の作家活動で 地域社会に影響を与えた
第52回	1993年	平成5年	学術文化	太田 一也	九州大学教授 九州大学附属 島原地震火山観測所長	長崎	雲仙・普賢岳の噴火災害に際し、研究成果を基に住民の安全確保、 防災対策に尽力した
			学術文化	高田 茂廣	日本海事史研究家	福岡	地域に根ざした海事史研究を行い、地域文化の掘り起こしに貢献し た
			社会文化	青木 龍山	陶芸家	佐賀	中国由来の天目釉を追求して、陶芸の世界に新境地を開き、陶芸界 に貢献した
			社会文化	中村 哲	医師 日本－アフガン医療 サービス顧問医師	福岡	パキスタン・アフガニスタンでのハンセン病治療・難民医療活動に 従事してきた
第51回	1992年	平成4年	学術文化	仲宗根 政善	沖縄言語研究センター代表	沖縄	沖縄方言の研究および研究者の育成に大きく貢献した
			社会文化	高野 和人	図書出版 青潮社社長	熊本	九州・沖縄各県の歴史的 basic 図書を刊行した
			社会文化	たかし よいち	児童文学作家 久留米信愛女学院短期大教授	福岡	わが国の児童文学に古生物学、考古学をテーマとしたノンフィク ション分野を開拓した
			社会文化	加藤 憲一	からいも交流財団専務理事	鹿児島	鹿児島県、南九州とアジアなど諸外国との国際交流協力活動である カラモジア運動のリーダー。民間による国際理解の増進と国際協力 の推進に大きく貢献している

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第50回	1991年	平成3年	学術文化	栗山 照	九州大学医学部教授	福岡	平滑筋の生理学的薬理学的研究で基礎医学の発展に大きく貢献した
			学術文化	森満 保	宮崎医科大学教授	宮崎	西日本地区におけるイルカの集団上陸の原因究明に関する研究を発展させた
			社会文化	上村 茂	八女市花卉園芸組合顧問	福岡	八女電照菊を創始し永年にわたり栽培技術開発に尽力し全国の花卉園芸発展向上に寄与した
			社会文化	栗林 慧	生態写真家	長崎	エレクトロニクスを駆使した独自の撮影技術を確立して昆虫の生態撮影活動を続けた
			社会文化	宗家文庫史料調査委員会	(代表 石田保)	長崎	宗家文庫の史料調査および『宗家文庫史料目録』を完成させた
第49回	1990年	平成2年	学術文化	高橋 清	長崎大学教養部教授	長崎	花粉・胞子化石の研究で本邦の第三紀および白亜紀における植物群の変遷とそれに基づく地層の分帯を確立し、広く諸外国に研究を発展させた
			学術文化	森岡 俊夫	九州大学歯学部教授	福岡	レーザーによる歯科疾患の予防と早期治療および歯の無振動迅速切削の研究開発による
			社会文化	城 秀男	染色家 佐賀大学名誉教授	佐賀	染色家として伝統を脱却した現代技法を独創し、教育者・指導者として西日本地区の染色工芸振興に貢献した
			社会文化	本村 義雄	北九州児童文化連盟副会長 九州野口雨情の会代表者	福岡	日本全国をお話キャラバンして児童文化の草の根を育成した
第48回	1989年	平成元年	学術文化	佐賀県吉野ヶ里遺跡研究調査チーム	(代表 佐賀県文化課 高島忠平)	佐賀	吉野ヶ里遺跡の発掘調査で古代史解明に特筆すべき成果を収めた
			学術文化	西谷 弘信	九州大学工学部教授	福岡	金属機材の疲労破壊に関する基礎研究で材料工学の向上に寄与した
			社会文化	安永 路子	歌人 熊本県教育委員会委員長	熊本	わが国短歌界で優れた作家活動を続け、併せて地元の教育、文化の向上に寄与した
			社会文化	内野 秀美	久留米連合文化会会長 画家	福岡	長年にわたり地域文化の振興と美術界の発展に寄与した
			社会文化	伊藤 英子	嘉穂劇場代表	福岡	伝統劇場の経営を守り、九州における大衆演劇の発展に寄与した
第47回	1988年	昭和63年	学術文化	今井 源衛	九州大学名誉教授	福岡	王朝文学とくに源氏物語の研究に先駆的業績をあげ、国文学研究の水準を高めた
			学術文化	山川 烈	熊本大学工学部助教授	熊本	ファジィ理論に基づく新世代コンピューターを世界に先駆けて開発した
			社会文化	福岡市医師会学校心臓 検診部	(代表 松田一夫)	福岡	全国初の学童心臓検診方式の確立、心疾患の予防および健康保持に貢献した
			社会文化	中村 晋也	彫刻家 鹿児島大学教授	鹿児島	優れた作品発表と教育活動によって九州彫塑界のレベル向上に寄与した
第46回	1987年	昭和62年	学術文化	加地 正郎	久留米大学医学部第一内科 教授	福岡	風邪症候群の病態を総合的に解明、臨床ウイルス学に国際的寄与をもたらした
			学術文化	上本 俊平	九州大学農学部教授	福岡	園芸学研究を通じバイオテクノロジーの先駆的業績を挙げた
			社会文化	清山 哲郎	九州大学名誉教授	福岡	産学官協力体制を主導し地域の高度技術化時代を切りひらいた
			社会文化	筑紫 美主子	劇団座長	佐賀	旅役者人生で鍛えた芸（佐賀にわか）によって大衆演劇見直しの機運を盛り上げた
			社会文化	平野 遼	洋画家	福岡	独学で開いた画境で時代と人間を追求、文化向上に尽くした

回	西暦	和暦	部門	氏名・団体名	肩書	県	功績
第45回	1986年	昭和61年	学術文化	成瀬 悟策	九州大学教授	福岡	障害児のリハビリテーションにおける心理学的研究
			学術文化	松尾 寿之	宮崎医科大学第二生化学教授	宮崎	世界で初めて『心臓利尿ホルモン』を発見、高血圧治療に画期的な道をひらいた
			学術文化	森 貞次郎	九州産業大学教授	福岡	九州各地の遺跡を調査、古代史解明と地域文化の向上に尽くした
			社会文化	矢幡 治美	大分県大山町 農業協同組合長	大分	NPC活動を始めとする『地域の国際化』に先駆的役割を果たした
			社会文化	井手 一郎	聖マリア病院院長	福岡	地域における救急医療の充実と胎児から新生児までの一貫した医療の確立に尽くした
			社会文化	石牟礼 道子	作家	熊本	水俣病の悲惨を文学化し、同時に辺境に忘れられた民衆の世界を現代によみがえらせた文学活動
第44回	1985年	昭和60年	学術文化	岡島 俊三	長崎大学名誉教授	長崎	「長崎原爆の影響調査、原爆線量の再評価に関する」研究業績
			学術文化	首藤 次男	九州大学名誉教授	福岡	貝類化石などの系統的研究で西南日本の新生代地史を確立した
			社会文化	福岡古文書を読む会	(代表 広渡正利 校訂 川添昭二)	福岡	「新訂黒田家譜」を完成させた
			社会文化	松枝 玉記 松枝 一	重要無形文化財久留米絣技術 保持者	福岡	久留米絣の伝統技術の継承と発展に尽くした
第43回	1984年	昭和59年	学術文化	中村 元臣	九州大学医学部教授	福岡	冠動脈痙攣と虚血性疾患に関する研究
			学術文化	平尾 一郎	九州工業大学教授	福岡	「生物活性化合物の研究と開発」の功績
			社会文化	第13代今泉今右衛門	陶芸家 色鍋島今右衛門技術 保存会会長	佐賀	色鍋島の伝統を継ぎ、現代感覚の作陶活動
			社会文化	上野 英信	作家	福岡	筑豊の記録と紹介に関する活動
			社会文化	小原 菁々子	俳人	福岡	俳句の創作普及と日中文化交流に尽くした
第42回	1983年	昭和58年	学術文化	高柳 素夫	九州大学工学部教授	福岡	高分子物性と工学的応用に関する研究
			学術文化	田村 圓澄	九州歴史資料館館長	福岡	九州古代史、日韓交渉史の研究と文化遺産保護
			社会文化	野口 秋人	野口病院院長	大分	甲状腺疾患の研究、特に外科的治療法の確立
			社会文化	財団法人九州交響楽団	(理事長 橋本武)	福岡	西日本における演奏活動と音楽文化向上
第41回	1982年	昭和57年	学術文化	石橋 貞人	鹿児島大学教授	鹿児島	農業における冷凍空調技術の研究と開発
			学術文化	大塚 幸男	福岡大学教授	福岡	「フランス文学研究」の功績
			学術文化	西原 康雄	鞍手共立病院院長	福岡	一開業医として20年近く病理解剖千例を精励し、地域医療に貢献
			社会文化	都留 大治郎	九州大学教授	福岡	西日本地域の社会、経済、文化の振興に関する調査研究と実践活動
			社会文化	あすの湯布院を考える ムラおこしグループ	(世話人 志手康二氏ら3人)	大分	文化運動を軸としたムラおこし運動